



## 町の発展のため 9年目の活動

### 菊陽町土木建設業協会「ボランティア清掃活動」

菊陽町内の土木建設業者有志でつくる菊陽町土木建設業協会(上村信敏会長)の会員24人が8月6日、久保田・原水地区の町道でゴミ拾いや草刈りなどの清掃活動を行いました。この活動は町の発展に役立ちたいという目的で平成18年度から行われていて、今年で9年目になります。

暑い日差しの下、約3時間に及ぶ作業が行われ、2トトラック2台分の草木やゴミが集められました。作業後には道路が見違えるように美しくなりました。



▲建設業協会の清掃作業で道路がきれいになりました

## さんふれあSC初優勝！

### 全日本ハイシニアソフトボール大会県予選会

第9回全日本ハイシニアソフトボール大会県予選会が7月19日、水俣市エコパーク水俣で行われ、さんふれあSCが優勝しました。これは65歳以上が対象の大会で、本町からは菊池美生<sup>みいき</sup>さん、吉山孟<sup>つとむ</sup>さん、山畑徳一<sup>のりかず</sup>さん、米村伸矢<sup>しんや</sup>さん、中村一次<sup>かずつぐ</sup>さんが出場。さんふれあSCは10月下旬に香川県で行われる全国大会に出場します。監督の菊池さんは「望みは日本一になること。歴史を築いていくためにも新しい若手が入ってくれるとうれしい」と話していました。



▲日曜の朝に町民グラウンドで練習しているさんふれあSC

## 先祖の供養と無病息災を祈る

### 上津久礼「川施餓鬼」

川施餓鬼が8月19日、上津久礼グラウンドで行われました。川施餓鬼は330年以上続く上津久礼の伝統行事で、町の無形民俗文化財に指定されています。

その昔、津久礼は白川中流域右岸に沿って開かれた豊かな水田地帯でしたが、その反面、水難と人や家畜の悪疫に悩まされていました。そこで1678年ごろ、藩命で津久礼は村をあげて現在地に移り住みました。そして今日まで、水難による先祖の供養と無病息災を祈るために川施餓鬼を続けています。

当日は、津白橋ぎわのグラウンドの慰霊碑前で読経を行いました。その後上津久礼の住民たちは6つの組に分かれて竹と麦わらで馬をかたどり、ちょうちんをつけた「施餓鬼船」をグラウンドに並べました。

施餓鬼船には、設計書がなく各組の経験で作成されるため、各組ごとの特色があります。施餓鬼船作りに携わった原田茂さんは「例年どおりうまくできました。年長者から荒縄の結び方などを教えてもらいながら作ります。こういう伝統は継承していかないといいませんね」と話していました。



▲地域で協力して作る施餓鬼船



▲並べられた施餓鬼船



## 最後まで諦めず自分のプレーを

### 熊日学童オリンピック大会バドミントン個人戦

第40回熊日学童オリンピック大会のバドミントン個人戦が8月23日・24日に熊本市総合体育館で行われ、武蔵ヶ丘小6年の森山沙帆さん(菊陽ジュニア)が小学3年生から4年連続のシングルス優勝を飾りました。森山さんは「しっかり自分のプレーをすることができた。12月の全国選手権(新潟県)でも最後まで諦めず自分のプレーを全て出して頑張りたい。中学、高校でトップの成績を残し、最終的には五輪でメダルを取ることが目標」と強い意志をのぞかせました。



▲追い込まれても強い球を打つ選手が目標と話す森山沙帆さん

## 家庭内のコミュニケーション術

### 男女共同参画さんさんの会研修会

男女共同参画社会を目指して活動している菊陽町男女共同参画さんさんの会が8月25日、三里木町民センターで研修会を開催しました。

(株)ハート・ラボ・ジャパンの仲村竜一さんが「家庭内コミュニケーション術」をテーマに自身の体験を元に講演をしました。参加者は「日常の中の身近な人とのコミュニケーションについて『愛と感謝』を日頃から心掛けることの大切さをあらためて気付かされました」と話していました。



▲自己紹介をして笑顔になる皆さん

## 支えや励ましを胸に

### 第31回全国少年少女レスリング選手権大会

第31回全国少年少女レスリング選手権大会が7月25日～27日、国立代々木第一体育館(東京都)で開催され、南小5年の友田向日葵さん(熊本レスリングクラブ)が女子の部5年生28kg級で第3位の成績を収めました。小学2年からレスリングを始め、現在週4回練習に励む友田さんは「父や母、指導者の磯川孝生先生の支えや励ましのおかげでこれまで頑張ることができた。次の目標は全国大会で優勝すること。ゆくゆくは五輪に出たい」と目を輝かせていました。



▲初めて取れたメダルでうれしいと話す友田向日葵さん

## スポーツで地域間交流

### 第32回地区対抗軟式野球ナイター大会

第32回地区対抗軟式野球ナイター大会が7月22日～28日、町民総合運動場で開催されました。これは、野球を通して地域間の親睦融和を深めることを目的とした大会です。

町内8地区の学生から選層を過ぎた選手まで幅広い年齢層の参加があり、熱戦を繰り広げました。決勝戦では、「緑陽台」が「馬場楠」を破り、見事優勝しました。こういった大会をきっかけに地域や世代間の交流がさらに深まっていくことが期待されます。



▲優勝し表彰を受ける緑陽台チーム

## 自然の中で学ぶ思いやりの大切さ

### 小学生サマーキャンプ

生涯学習課主催講座「小学生サマーキャンプ」が8月19日～21日、菊池少年自然の家で行われました。

町内の小学生20人と学生ボランティアの堀司さん、浅見征昇さん、水上友絵さん、池田百結さんの計24人が参加。参加者は4つの班に分かれてさまざまな活動を行いました。班活動として、コンパスゲームやナイトハイク、薪から火を起こしての野外炊飯を行いました。「コンパスゲームは難しかったけど、みんなと協力し合いながらすると、ほとんど終わったので良かったです」と班行動の中で互いに協力する姿勢を学びました。他に自然の中での川遊びや沢登り、カヌー体験などを行いました。参加者は「自然の怖さや楽しさを知って、とても良かったです」と普段は身近過ぎて気付きにくい自然の大切さを学びました。

班のリーダーとして参加した学生ボランティアの水上友絵さんは「初めは不安でしたが、子どもたちの明るさと元気のおかげで楽しい時間になりました。集団行動の大切さや思いやりなど、私たちも学ぶことが多くありました」と満足そうでした。



▲飯ごうで米を炊く準備をする子どもたち



▲協力しながら活動し多くのことを学びました

## 3度目の挑戦 夢かなう

### 第38回ピティナ・ピアノコンペティション

第38回ピティナ・ピアノコンペティションが8月17日、王子ホール(東京都)で行われました。境小緒里さん(光の森6町内)は、仕事や学業などとピアノを両立している23歳以上40歳未満対象のグランミュージック部門B1カテゴリーで第1位に輝きました。これは参加者約4万組の世界でも最大規模のピアノコンクール。現在医師の境さんは「今回3度目の挑戦です。憧れの全国の舞台に出ることを目標に頑張ってきました。まだ夢の中にいるようです」と喜びを話しました。



▲支えてくれた母と家族に感謝していると話す境小緒里さん

## 夜の図書館を堪能

### 遊びの達人「図書館お泊まり探検隊」

生涯学習課主催講座「図書館お泊まり探検隊」が8月22日～23日、菊陽町図書館で行われ、町内の小中学生24人が参加しました。

参加者は、開館時間が終了した後の図書館に集まり、図書館内を探検した後、目いっぱい本を読みました。

図書館に泊まり、たくさん本を読んだ参加者からは、「夜遅くまで友達と本が読めて、とてもわくわくできました。これからも図書館を利用していきたいです」と喜びの声がありました。



▲本の世界に夢中になる子どもたち



## 自分を振り返る時間に

### 人権のまち菊陽フェスタ

人権のまち菊陽フェスタが9月13日、図書館ホールで開催されました。「ふれあい劇団」の創作劇では、高齢者詐欺商法に関する劇がありました。講演会では猿まわし芸人の村崎太郎さんが「橋はかかる～被差別部落に生まれ育って～」と題し、本人の実体験や差別の現実についての話がありました。参加者からは「自分を振り返る時間になった」「劇の内容など理解しやすく身近に感じる事ができた」「村崎太郎さんに生きる力をいただいた」などの感想がありました。



▲「お・し・だ・そう」という演目で熱演するふれあい劇団

## 日本舞踊を優雅に披露

### 第60回さんふれあ舞の会

第60回さんふれあ舞の会(瀬戸山由美子代表)が8月27日、総合交流ターミナルさんふれあで日本舞踊を踊るボランティアを行いました。この日は5周年を迎える記念すべき日。さんふれあ舞の会は艶やかな着物に身を包んで日本舞踊を優雅に披露し大勢の観客の拍手を浴びていました。あゆむ保育園の園児はくまモン体操を踊り、となりのトトロの主題歌『さんぽ』を歌いました。年長児の小川明莉ちゃんあかりと山口蒼天くんそうたは「楽しかった。うまく歌えた」と話しました。



▲手先までしなやかに踊る

▲『さんぽ』を歌う園児

## おいしいあか牛を堪能

### 阿蘇の草原で放牧牛と触れ合おう

菊陽町放牧組合の主催で町内の小学生と保護者約20人が8月30日、阿蘇市の牧野(牛を放牧している草原)で放牧牛と触れ合いました。これは畜産業への理解を目的に企画。児童と保護者達は阿蘇の自然やあか牛と身近に触れ合い、畜産業への理解を深めました。お昼はあか牛を使ったバーベキューを行い、参加者からは「子どもが牛に触れて良い経験ができた」「牛肉がとてもおいしかった」「こういう親子で体験できるものをたくさんしてほしい」と喜びの声がありました。



▲「大きいね」と驚きながらあか牛を触る子どもたち

## 長寿の秘けつは運動

### 各地区の敬老会

敬老会が9月13日～15日、各地区の公民館や町民センターで行われ、長寿のお祝いがありました。南校区では6地区合同の敬老会が行われ、当日は対象者124人と関係者の計約200人が出席。長寿者の表彰式の後、祝吟やフラダンス、健康体操、歌謡曲など20演目が各地区から披露されました。出席者の皆さんはプロさながらの歌声や踊りに大喜びでした。99歳の内村マツ子さんは「敬老会はとても良かった。長寿の秘けつはこつこつ運動すること」と笑顔で話しました。



▲笑顔あふれる敬老会